

第3期川西市参画と協働のまちづくり推進計画(案)に係る 市議会意見と市の検討結果

12/1に実施した総務生活常任委員協議会の後に議員のみなさまから提出されたご意見については、「12/1委員協議会後の意見」欄に「*」を付記しています。

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	12/1 委員協議会 後の意見
1	【全体】	各指標の目標値未達成について、大きな要因は何でしょうか。	新型コロナウイルス感染症拡大により、人と人とのつながりが制限されたほか、コロナ禍が落ち着いた後も、活動停止から元の状態に戻るのが難しいという状況であり、未達の1つの要因と考えています。	
2	【全体】	あらゆる観点が必要な計画ですので、スポーツ団体や文化団体等も審議会の委員には必要だと思います。そのような団体との連携などをとる必要があるのではないのでしょうか。	審議会委員は、コミュニティ組織からの選出もしており、幅広い活動に見識をお持ちであると考えています。また、市民公募委員の方も様々な経験をされていますので、様々な視点という部分はカバーできていると考えています。	
3	【全体】	この計画は、横串である必要があると思いますが、様々な課題を抱えている人の声を拾えるよう市内でしっかりと連携していただきたいと思えます。	計画の策定にあたっては、庁内のガールーンで計画や進捗の共有を図っています。また、審議会等で生じた個別に調整や整理が必要な項目については、所管課に確認を行いながら計画策定をしています。	
4	【全体】	全体的な理想は分かりますが、若者・子育て世代に対しての意欲が基本構想には入ってないと感じます。自分ごとにするために無関心層へのアプローチが大切ではないのでしょうか。	全ての市民をイメージした計画になります。例えば、若い世代の方など時間が無いという意見も多いですが、いかに時間を取らないで参加・参画できるようにするなど幅広い取組みの工夫が、若者や子育て世代にもつながるものと考えています。	
5	【全体】	<p>全体を通して地域参画を促し、参加比率があがることでどのようなメリットが生じるのか、その言及がない。【地域活動に参加することは良いこと】だけでは多くの方は動かないと考えられる。例えば地域活動が盛んになったという地域のデータと犯罪率が低下したなどのデータがあれば説得力も増すと思われる。</p> <p>P.13 特に参加していない が圧倒的に多い。現状分析として未就学児の家庭に地域への関心が高いとされているが、それは何に対して関心が高いか、もっと詳細を分析するべきである。おそらくは子供の教育環境＝犯罪率だと予想されるが、そうだった場合、地域活動への参加が最適解なのか、そのデータとともに市民へ説明しなければ参加を検討するに値しない。そうでなければ関心があるが70%以上にも関わらず、特に参加していないという結果の差異に説明がつかないため。</p> <p>参加はしたくないが、お金なら払うという考え方の人もいると思われる。時間の使い方がより“ 個 ” に近づいているためである。多様性を謳い、個人主義を推進すれば、結果的として集合体への依存度は下がるのは当然である。ボランティア精神に頼るのは共通理念や想いがないと難しく、それに頼るのは時代の流れや教育の変化などからも難しいかもしれない。対価をもって活動するという考え方も必要になってきているのではないかと。パラダイムシフトが必要だと考えられる。</p>	<p>本計画では、持続可能なより住みよいまちにしていくため、自分たちの住んでいるまちを自分たちがより良くしていく、一人ひとりが自分ごととしてとらえて、気軽に自分のやりたいことやできることをやってみる、そのためのきっかけや取組みが重要だと考えており、住民自治の充実に取り組みうとするものです。その上で、地域活動等へ多くの市民の参加を促すためには、ご意見にあるような地域参画による変化や違いをデータにより示すことも重要であると考えています。例えば、犯罪率の地域毎のデータは取得できていませんが、地域活動等の社会参加をされている方は健康状態が良いというデータもございますので、周知については検討してまいります。また、未就学児をもつ親世代の地域への関心は高いという結果ですが、地域活動に参加しにくい理由に「時間がない」「どのような活動内容があるかわからない」「参加の仕方がわからない」という回答が上位にあります。例えば、時間を取られないよう、参加しやすい環境を整えれば、地域活動につながるのではないかと考えています。</p> <p>また、時間的に活動に参加することは難しいが、金銭的な負担であれば力になれるというように活動への多様な関わり方については、ご意見として承ります。</p>	*

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	12/1 委員協議会 後の意見
6	8～9ページ	グラフの世帯数等の表記について、同じ世帯数であれば表記に整合性を持たせた方が良いのではないか。 また、表1に市の世帯数も合わせて表記したほうが良いのではないか。	9ページのグラフは単位が同一であります。8ページは単位が世帯と人で異なっているために括弧書きで付記しています。 表1の世帯数については、参画協働課で調査している加入世帯数と加入率の記載にとどめ掲載をさせていただいていますが、ご意見を受け世帯数欄を追記します。	
7	9ページ	自治会加入率の減少の記載があり全国的にも減少していると思いますが、その中でも頑張っている自治会はあるのでしょうか。	内閣府の調査においても全国的に減少傾向にあります。その中で14の自治体で加入率が上がっていると回答しています。 今後、そのような自治体の取組みについて調査、検討を進めていきたいと考えています。	
8	10ページ	市民アンケート結果について、そもそも関心の無い人は回答してないのではないかと感じますが、どのように思われていますか。	アンケートの回答率そのものも関心・無関心を判断する1つであると思いますが、十分な有効回答数という前提で、その回答割合をどのように捉えて考えていくかがアンケート調査では重要であると考えています。	
9	10ページ	市民アンケートのグラフについてパーセンテージだけで無く、スペースがあれば人数も書いていただきたいと思います。	表記が複雑になり分かりにくくなると考え、パーセンテージのみの表記とさせていただきます。全数の記載はさせていただきます。	
10	20ページ	コミュニティ懇話会の現状の中にも、関わりを持ちたいと思っているようなので、参画協働課がハブ的な役割を担っていただき、しっかりとつながる仕組みを検討していただきたい。	コミュニティへの取組みを進めていく中で、コミュニティ協議会連合会への支援を通じて各コミュニティ間の情報共有等にも努めてまいります。	
11	21ページ	21ページだけ「カメ」のイラストが無い理由はありますか。	スペース等の都合ではありますが、イラストを追記します。	
12	22ページ	めざす姿の中に「自分たちがまちづくりの主体」とありますが、計画の主体は、どのような立ち位置で策定されているのでしょうか。	行政がすべきことを市の計画として策定したという考えではなく、職員、市民等も含めて一緒に取組みを進めていきたいという考えで策定しています。	
13	22ページ	「気がついたら」の部分に団体に入っていないなくてもあるが、自治会に入っていないでも参画を目指そうとしているように受け取れます。自治会は大事だということが、読み取りにくいと感じるのですが。	身近な地域のことに関わることで、今まで知らなかった自治会の良さを知ることができ、そこから加入につながってほしいと考えています。	
14	23ページ	総合計画では「ジブンゴト」はカタカタ表記だが、「自分ごと」漢字とひらがな表記でルビで強調しています。整合性でいえばカタカナだと思いますが、あえて意識をしているのでしょうか。	総合計画では象徴的に「ジブンゴト」と表現しており、その内容をしっかりと意識した上で各個別計画で表現していくものと考えています。本計画では、参画や協働の取組みは、特別な人が特別なことをするのではないということを意識し、出来る限り普段使う表現として漢字とひらがなの表記にしています。	
15	24～25ページ	「知る」・「興味を持つ」・「参加する」は大きなキーワードだと思うので、文字の色を変えるなど、もう少しクローズアップしてほしい。	「知る」・「興味を持つ」・「参加する」の文字を強調するよう変更します。	

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	12/1 委員協議会 後の意見
16	24ページ	指標の目標値について、根拠があれば参考程度に教えてほしい。	例えば、講座の年間受講者数の項目については、現状定員割れの生じている講座があるため、それらの定員を満たして実施できた場合の数量を目標値に設定しています。 また、自治会やコミュニティ、地域でのボランティア活動に参加している市民の割合の項目については、第2期推進計画と同様の指標で目標値50%を達成できていないため、引き続き50%としています。	
17	25ページ	指標に「参画の取組みを行ったことがある市民の割合」を25.0%に上げる目標値があり、第3期推進計画のめざす姿に「みんな、気がついたらまちづくりに参加している」とあります。 気づかないうちに参画している状況をめざす訳であるが、その状況で市民が「参画の取組みを行ったことがある」と認識してくれるのでしょうか。 地域活動や市民活動で行う行事に行くことも参画とするのであれば、その行事が参画の取組みであることの証が必要ではないでしょうか。 例えば、この計画に記載されているイラストを使用した「参画と協働のロゴマーク」を作成して、各種行事、チラシに掲載してはどうでしょうか。(SDGsのロゴマークのようにさりげなく、明確に載せる)それこそ、そのロゴマークを市民から募集して作成することも「参画と協働の一つ」ではないかと思えます。	めざす姿は、参画と協働の敷居を低くする、団体に入っていないくても、簡単なことや些細なことでも人のためやまちのためになっているということを表しています。ご指摘のとおり、市民の方が自身の取組みが参画と協働につながるということに気づくことも重要ですので、その方法については検討してまいります。	*
18	26ページ	必要な取組みの「めざす姿」が分かりにくく感じます。例えば「多様な主体」という表現がありますが、誰を指しているのかが分かりにくいのではないのでしょうか。	市や市民、団体など様々な主体がある中で、自分ごととして考えてもらうため、主体を限定して記載するのではなく、主語を省略したかたちで記載しています。	
19	26ページ	情報発信が大切だと思います。地域情報専用の広報誌(例：コミュニティを応援していく紙面、自治会に入った方がいいなど)を作るなどの仕掛けがあっても良いのではないのでしょうか。	情報発信の取組みを進めていく中で効果的な発信について検討していきます。	
20	26ページ	必要な取組み12項目で、ここは市民としてやっていく、行政としてはこれをするというものがあっても良いのではないかと感じました。また、市民へ期待することと行政がしていくことを打ち出してほしいと思います。	市や市民、団体など様々な主体がある中で、自分ごととして考えてもらうため、主体を限定して記載するのではなく、主語を省略したかたちで記載しています。	
21	26ページ	SNSの活用については、googleの検索等のアルゴリズム等へアプローチをしていくことも大切だと思います。	情報発信の取組みを進めていく中で効果的な発信について検討していきます。	

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	12/1 委員協議会 後の意見
22	29ページ	「ここにあなたができる」と書いてあるが、ホワイトボードのことを指していると思います。分かりやすい表現にした方が良くないでしょうか。 また、同ページのQRコード部分にX(Twitter)とあるが、X(旧Twitter)の方が良いのではないのでしょうか。	ホワイトボードのことだと分かるように、表現やイラストを追加します。 「X(Twitter)」「X(旧Twitter)」に修正します。	
23	30ページ	参画と協働のまちづくり推進条例に阪神大震災の記載がありますが、ここにコロナ等の影響についてを記載する予定はありませんか。	現在、条例改正という点では考えておりません。	
24	38ページ	委員の中に公募市民とありますが、地域に関わっている方々はおられるのでしょうか。	自治会など地域活動などに関わっている方は複数名おられます。	